

認知症高齢者の嚥下障害

社会医療法人 慈恵会 聖ヶ丘病院
リハビリテーションセンター
言語聴覚士 武田 堅佑

本日の内容

摂食・嚥下障害を理解する為の基礎知識

認知症高齢者の摂食・嚥下障害の特徴

嚥下障害への対応、工夫、介助方法

最後に...

本日の内容

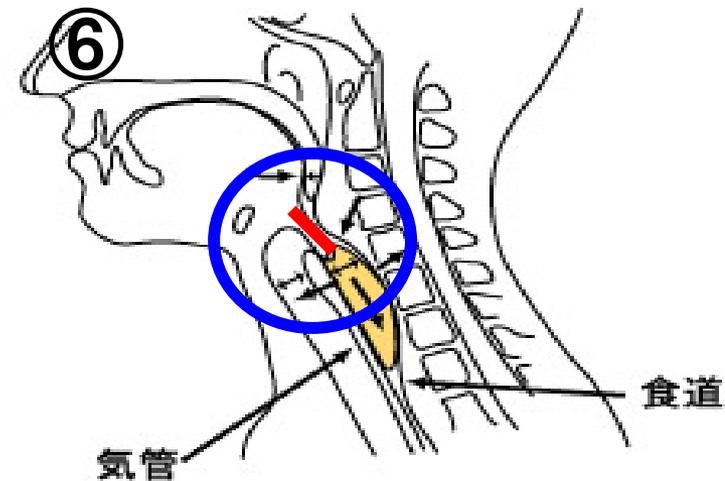
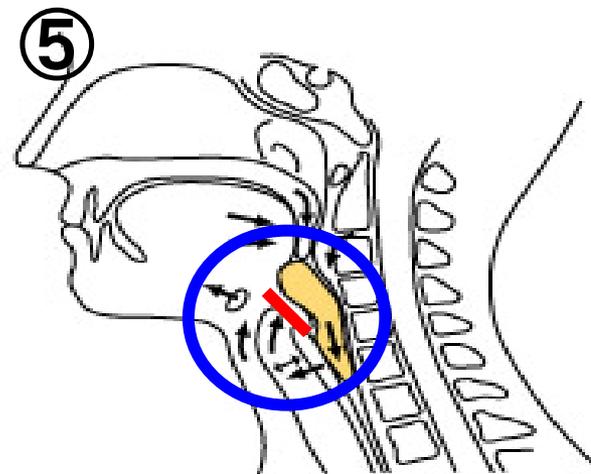
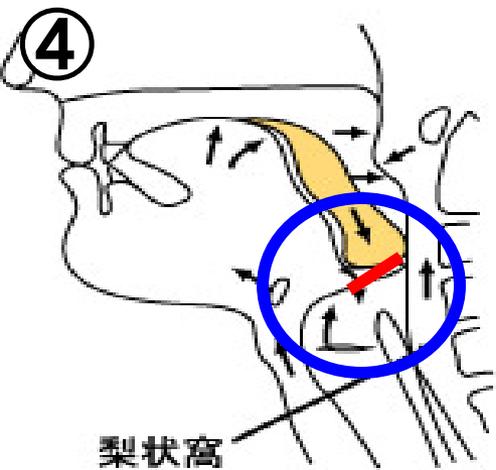
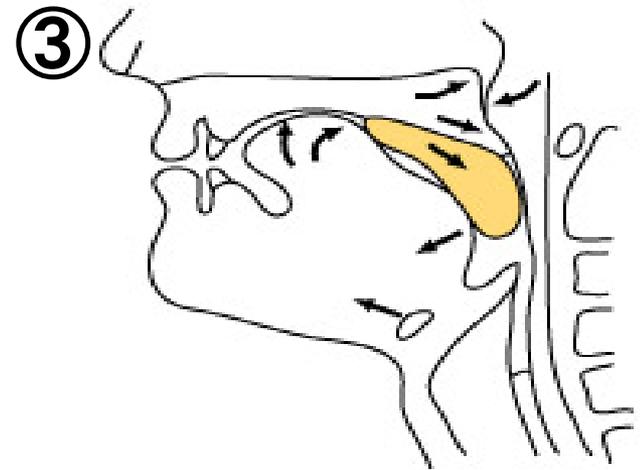
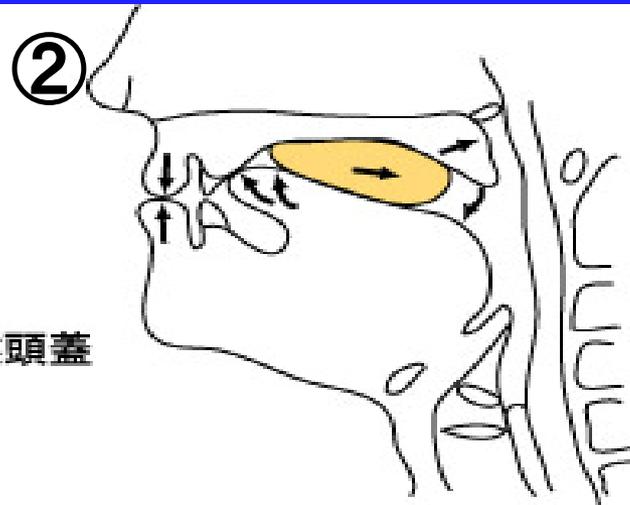
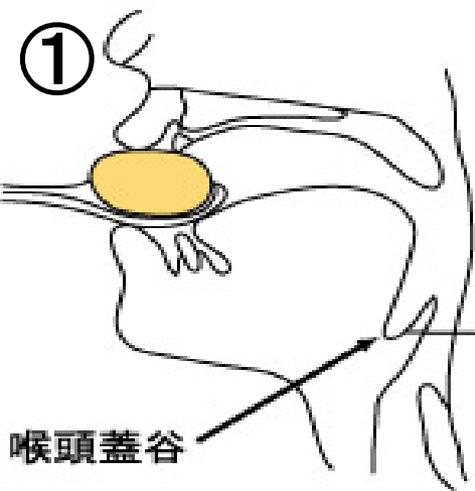
摂食・嚥下障害を理解する為の基礎知識

認知症高齢者の摂食・嚥下障害の特徴

嚥下障害への対応、工夫、介助方法

最後に...

摂食・嚥下の過程



④咽頭への送り込み

⑤咽頭通過、食道への送り込み

⑥食道へ入ったところ

嚥下造影検査(VF)



摂食・嚥下障害（誤嚥）



本日の内容

摂食・嚥下障害を理解する為の基礎知識

認知症高齢者の摂食・嚥下障害の特徴

嚥下障害への対応、工夫、介助方法

最後に...

認知症のタイプ

- アルツハイマー型認知症
- レビー小体型認知症
- 前頭側頭型認知症
- その他

認知症のタイプによって摂食嚥下障害の症状は変わってきます。

アルツハイマー型認知症

- 咀嚼や嚥下に問題が出ることは少ない
- 食べ始めない、食事の途中で止まる
食事の好みの変化などが起きやすい
- 終末期になると嚥下機能が低下し誤嚥することが増える
→介助であれば終末期まで食べられることも

レビー小体型認知症

- 嚥下反射の遅れ、食物が喉に残る、などにより誤嚥が比較的早期から出現し誤嚥性肺炎になる可能性が高い
- 意識レベルの低下による摂取困難
- 幻視による食事に虫が入っているなどによる食欲の低下
- 嗅覚障害による食欲低下
- 起立性低血圧で食事がすすまない
- 便秘による経口摂取量の低下

前頭側頭型認知症

- 食欲に対して衝動的になり、過食や窒息がみられる事がある
 - それらをコントロールしようとすることを好まない
 - 窒息などが起きない限り介入は最小限にすることが本人・介助者へのストレスが少ない

共通するもの

認知症による活動性低下



食欲・体力・筋力の低下 体重の減少



嚥下機能の低下

高齢者の嚥下障害の特徴

感覚低下

筋力低下

摂食嚥下障害

反射の遅れ

咽頭残渣

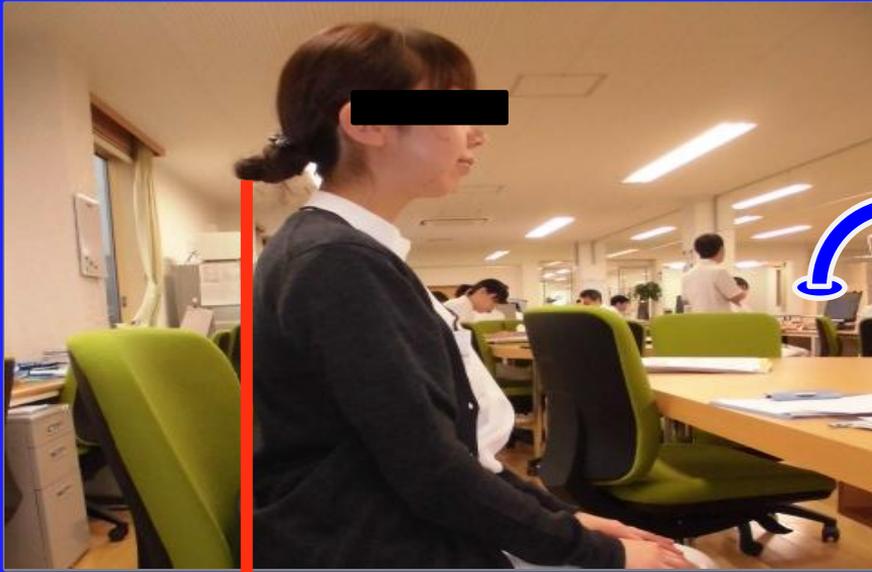
嚥出力の減弱

姿勢の変化

ムセや嘔声などの咽頭期の障害が顕在化

高齢者の嚥下障害の特徴

気管に食べ物が入り易い！



摂食嚥下障害を引き起こす薬剤

- 抗不安薬
 - 睡眠薬
 - 抗てんかん薬
 - ドパミン拮抗薬
- 傾眠・筋力低下による嚥下障害

認知症の行動・心理症状によく用いられるが
誤嚥を引き起こすという報告が多い

どんな薬を飲んでいるのかを確認することも大切です。

本日の内容

摂食・嚥下障害を理解する為の基礎知識

認知症高齢者の摂食・嚥下障害の特徴

嚥下障害への対応、工夫、介助方法

最後に...

摂食困難への対応

認知症高齢者の摂食困難の原因は多彩なため
「この対応を行えば改善する」というものはない

- ① 寝たまま食べない、疲れた状態で食べない
- ② 食べにくい食事姿勢で食べない
- ③ 食事に集中できる環境、食べやすい環境
- ④ 食べやすい食形態に調理・選択する
- ⑤ 自助食器の使用、ワンプレートで提供
- ⑥ 介助者による介助方法の工夫(介助技術・声掛け)
- ⑦ 日々の変化を記録し変化に対応する など

その人に合わせた支援方法を工夫する

嚥下障害に効果的な手法（直接訓練）

対応	メカニズム
顎引き嚥下	頸部の後屈を減らし誤嚥を防ぐ
頷き嚥下	食べ物が咽喉に残った場合に除去
嚥下の意識化	嚥下のタイミングがズれる誤嚥を予防
交互嚥下	食べ物が咽喉に残った場合に有効
横向き嚥下	咽喉の片側に食べ物が残る場合に有効
咳払い	時々咳を随意的に行うことで誤嚥を予防
嚥下反射促通手技	咽喉ぼとけ周囲をマッサージ

認知症高齢者の嚥下障害への対応

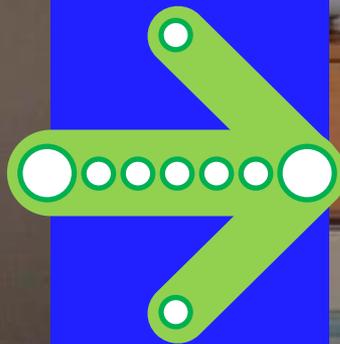
- ✓ 摂食・嚥下訓練
 - ✓ 摂食指導
-

- ✓ 食事介助方法の工夫
- ✓ 姿勢の調整
- ✓ 食事形態の調整
- ✓ 水分のトロミ調整
- ✓ 食器/スプーンの工夫

食事環境
アプローチ

摂食・嚥下障害者への対応

一般家具(椅子)での対応



摂食・嚥下障害者への対応

食事環境の工夫



摂食・嚥下障害者への対応

食事環境の工夫



摂食・嚥下障害者への対応

食器/スプーンの紹介



摂食・嚥下障害者への対応

食事形態の調整

最も食べやすい食品...

まとまりやすさ

やわらかさ

なめらかさ

3つの特性への配慮が大切！

本日の内容

摂食・嚥下障害を理解する為の基礎知識

認知症高齢者の摂食・嚥下障害の特徴

嚥下障害への対応、工夫、介助方法

最後に...

ST/施設間連携



病院

- ・嚥下機能評価
- ・対応方法の助言
- ・環境作りへの支援
- ・外来VF

家族

- ・症状の観察
- ・課題や問題の共有
- ・環境作り

施設

- ・症状の観察
- ・対応を一緒に考察
(BPSDを踏まえた)
- ・環境作り

「嚥下に問題を抱えても地域で暮らせる」を実現!!

支援 環境 地域

ご清聴ありがとうございました